

平成29年7月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年3月15日

上場会社名 総合商研株式会社

上場取引所

東

コード番号 7850 URL <http://www.shouken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 加藤 優

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画管理本部部長

(氏名) 小柳 道啓

四半期報告書提出予定日 平成29年3月15日

TEL 011-780-5677

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

配当支払開始予定日 平成29年4月17日

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年7月期第2四半期の連結業績(平成28年8月1日～平成29年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年7月期第2四半期	11,804	3.4	780	31.3	827	35.0	574	49.1
28年7月期第2四半期	11,413	3.9	594	10.2	613	9.9	385	10.0

(注)包括利益 29年7月期第2四半期 605百万円 (76.9%) 28年7月期第2四半期 342百万円 (-27.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
29年7月期第2四半期	円 銭 191.37	円 銭
28年7月期第2四半期	128.32	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
29年7月期第2四半期	百万円 11,866	百万円 2,613	% 22.0
28年7月期	8,597	2,038	23.7

(参考)自己資本 29年7月期第2四半期 2,612百万円 28年7月期 2,038百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年7月期	円 銭 10.00	円 銭 10.00	円 銭 10.00	円 銭 10.00	円 銭 20.00
29年7月期					
29年7月期(予想)				10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年7月期の連結業績予想(平成28年8月1日～平成29年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益				
通期	百万円 16,500	% 0.8	百万円 130	% 50.5	百万円 150	% 32.2	百万円 100	% 9.6	円 銭 33.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年7月期2Q	3,060,110 株	28年7月期	3,060,110 株
期末自己株式数	29年7月期2Q	58,988 株	28年7月期	58,988 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年7月期2Q	3,001,122 株	28年7月期2Q	3,001,687 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や企業収益に改善の遅れがみられるものの、雇用情勢や所得環境の改善により総じて緩やかな回復基調が続きました。一方で、中国を始めとするアジア新興国の経済の先行きや政策に関する不確実性、グローバル金融資本市場の変動等の影響が懸念され、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

当社グループが位置する広告業界及び印刷業界においては、経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」における平成28年の広告業売上高の統計によると、インターネット広告やセールスプロモーション（販売促進）分野が伸長し、概ね堅調に推移しております。一方で、新聞や雑誌、折込み・ダイレクトメール等の紙媒体の需要は縮小傾向が続いている状況です。

このような状況のなか、当社グループは、お客様に、より必要とされる情報及びソリューションを提供するために組織体制の変更を行い、企画力とノウハウを集結することで、既存媒体の付加価値を高め、新規商材を開発してまいりました。既存事業においては、連結子会社である株式会社味香り戦略研究所が提供する味覚分析サービス等、子会社・グループ会社と連携した独自性の高い商材の販売を積極的に進め、また、工場の集約を始めとする製造コストの見直し等により、収益向上に取り組みました。年々受注が拡大している年賀状印刷においては、今後の人材不足や個人情報漏洩等の課題に備えるため、生産性向上やセキュリティ強化のための設備投資を行い、お客様が安心していただける生産体制を整えてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、11,804百万円（前年同四半期比390百万円増）となりました。また、営業利益は、780百万円（前年同四半期比185百万円増）、経常利益は827百万円（前年同四半期比214百万円増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、574百万円（前年同四半期比189百万円増）となりました。

なお、当社グループの利益は、第1四半期連結会計期間は年賀状印刷の資材・販売促進費等の先行支出により低下、第2四半期連結会計期間は年賀状印刷の集中及び商業印刷の年末商戦の折込広告の受注により売上が拡大することにより増加、第3四半期連結会計期間・第4四半期連結会計期間は年賀状印刷は固定費のみが発生することにより、売上高に対する経費割合が高くなり利益が低下するという季節的変動があります。

また、前第3四半期連結会計期間より、当社グループは単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。詳細は、「3. 四半期連結財務諸表 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」をご覧ください。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び総資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は11,866百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,268百万円増加しました。これは主に現金及び預金が810百万円、年賀状印刷の売上等に係る受取手形及び売掛金が1,455百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は9,252百万円となり前連結会計年度末に比べ2,693百万円増加しました。これは主に年賀状印刷の仕入等に伴う支払手形及び買掛金が1,739百万円、社債が600百万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は2,613百万円となり前連結会計年度末に比べ575百万円増加しました。これは主に利益剰余金が544百万円、その他有価証券評価差額金が29百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は2,184百万円となり、前連結会計年度末に比べ810百万円の増加となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は876百万円（前年同四半期は853百万円の収入）となりました。これは主に売上債権の増加が1,454百万円あったこと等により資金が減少したのに対して、仕入債務の増加が1,739百万円、税金等調整前四半期純利益が826百万円、減価償却費が224百万円あったこと等により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は294百万円(前年同四半期は447百万円の支出)となりました。これは主に有形・無形固定資産の取得による支出が300百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は228百万円(前年同四半期は1,383百万円の収入)となりました。これは長期借入金の返済による支出が516百万円あったこと等により資金が減少したのに対して、長期借入れによる収入が200百万円、社債の発行による収入が594百万円あったこと等により資金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年7月期の業績予想につきましては、平成28年9月12日付「平成28年7月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	1,373,720	2,184,312
受取手形及び売掛金	1,525,596	2,980,888
商品及び製品	8,123	11,902
仕掛品	30,142	7,134
原材料及び貯蔵品	934,966	862,630
その他	137,285	1,203,016
貸倒引当金	△20,720	△30,897
流动資産合計	3,989,114	7,218,987
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	938,396	892,391
土地	1,165,851	1,165,851
その他（純額）	1,182,971	1,170,253
有形固定資産合計	3,287,220	3,228,497
無形固定資産		
その他	248,090	263,519
無形固定資産合計	248,090	263,519
投資その他の資産		
投資有価証券	570,638	614,598
関係会社株式	40,000	40,000
その他	555,353	566,176
貸倒引当金	△97,266	△74,926
投資その他の資産合計	1,068,725	1,145,848
固定資産合計	4,604,036	4,637,864
繰延資産		
社債発行費	4,389	9,182
繰延資産合計	4,389	9,182
資産合計	8,597,540	11,866,035

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,285,149	3,024,849
短期借入金	920,008	848,514
未払法人税等	56,759	276,116
賞与引当金	14,172	11,536
その他	590,298	1,080,427
流動負債合計	2,866,388	5,241,443
固定負債		
社債	600,000	1,200,000
長期借入金	2,824,412	2,579,110
その他	268,429	232,054
固定負債合計	3,692,841	4,011,164
負債合計	6,559,230	9,252,608
純資産の部		
株主資本		
資本金	411,920	411,920
資本剰余金	452,835	452,835
利益剰余金	1,004,149	1,548,465
自己株式	△20,512	△20,512
株主資本合計	1,848,392	2,392,708
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	189,917	219,734
その他の包括利益累計額合計	189,917	219,734
非支配株主持分	—	984
純資産合計	2,038,309	2,613,426
負債純資産合計	8,597,540	11,866,035

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

	(単位:千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年8月1日 至 平成28年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年8月1日 至 平成29年1月31日)
売上高	11,413,967	11,804,490
売上原価	8,196,823	8,434,610
売上総利益	3,217,144	3,369,879
販売費及び一般管理費		
運賃	773,999	793,836
給料及び手当	776,022	780,365
貸倒引当金繰入額	424	9,663
賞与引当金繰入額	9,036	9,033
その他	1,063,231	996,643
販売費及び一般管理費合計	2,622,715	2,589,542
営業利益	594,428	780,337
営業外収益		
受取利息	548	433
受取配当金	3,658	3,164
受取賃貸料	8,594	8,533
作業くず売却益	6,844	6,103
貸倒引当金戻入額	2,095	21,826
受取手数料	23,816	23,107
その他	8,403	11,118
営業外収益合計	53,961	74,286
営業外費用		
支払利息	31,262	24,946
その他	4,054	1,904
営業外費用合計	35,316	26,850
経常利益	613,073	827,772
特別利益		
固定資産売却益	—	2,768
特別利益合計	—	2,768
特別損失		
固定資産売却損	644	—
固定資産除却損	3,988	3,623
設備移設費用	21,359	—
特別損失合計	25,992	3,623
税金等調整前四半期純利益	587,081	826,917
法人税、住民税及び事業税	233,016	253,476
法人税等調整額	△29,972	△1,869
法人税等合計	203,043	251,606
四半期純利益	384,037	575,311
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,150	984
親会社株主に帰属する四半期純利益	385,187	574,326

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年8月1日 至 平成28年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年8月1日 至 平成29年1月31日)
四半期純利益	384,037	575,311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41,954	29,817
その他の包括利益合計	△41,954	29,817
四半期包括利益	342,083	605,128
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	343,233	604,143
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,150	984

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位:千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年8月1日 至 平成28年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年8月1日 至 平成29年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	587,081	826,917
減価償却費	276,742	224,263
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,670	△12,163
賞与引当金の増減額（△は減少）	△2,175	△2,636
受取利息及び受取配当金	△4,207	△3,597
固定資産売却損益（△は益）	644	△2,768
固定資産除却損	3,988	3,623
設備移設費用	21,359	—
支払利息	31,262	24,946
為替差損益（△は益）	22	△74
売上債権の増減額（△は増加）	△1,312,937	△1,454,604
たな卸資産の増減額（△は増加）	△372,522	91,565
仕入債務の増減額（△は減少）	2,135,083	1,739,699
未払消費税等の増減額（△は減少）	125,053	124,612
その他	△596,050	△607,018
小計	891,675	952,765
利息及び配当金の受取額	4,214	3,663
利息の支払額	△29,353	△31,447
法人税等の支払額	△13,206	△48,471
営業活動によるキャッシュ・フロー	853,329	876,510
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△273,374	△241,973
有形固定資産の売却による収入	100	29,490
有形固定資産の除却による支出	△14,495	△2,689
投資有価証券の取得による支出	△18,168	△4,236
貸付けによる支出	△450	△2,000
貸付金の回収による収入	3,897	5,419
無形固定資産の取得による支出	△113,756	△58,068
差入保証金の差入による支出	—	△72
差入保証金の回収による収入	—	56
資産除去債務の履行による支出	△9,585	—
その他	△21,778	△20,526
投資活動によるキャッシュ・フロー	△447,611	△294,601

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年8月1日 至 平成28年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年8月1日 至 平成29年1月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	500,000	—
長期借入れによる収入	900,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△556,571	△516,796
社債の発行による収入	594,550	594,250
リース債務の返済による支出	△23,615	△18,867
配当金の支払額	△30,287	△29,979
自己株式の取得による支出	△660	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,383,416	228,608
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22	74
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,789,111	810,592
現金及び現金同等物の期首残高	1,272,359	1,373,720
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,061,470	2,184,312

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年8月1日 至 平成28年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注3)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	ふりっぱー 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	4,829,080	6,291,214	236,456	11,356,751	57,215	11,413,967	—	11,413,967
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	47,089	2,747	8,446	58,282	1,739	60,021	△60,021	—
計	4,876,170	6,293,961	244,902	11,415,034	58,954	11,473,989	△60,021	11,413,967
セグメント利益 又は損失(△)	△1,895	816,243	△34,762	779,586	△7,819	771,766	△177,337	594,428

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントハウス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△177,337千円には、セグメント間取引消去6,980千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△184,318千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年8月1日 至 平成29年1月31日)

当社グループは、「情報コミュニケーション事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、従来「商業印刷事業」「年賀状印刷事業」「ふりっぱー事業」の3つを報告セグメントとしてまいりましたが、前第3四半期連結会計期間より、「情報コミュニケーション事業」の単一セグメントに変更しております。

これは、お客様に、より必要とされる情報及びソリューションを商材等に関わらず、効果的・効率的に提供し顧客深耕を図るために、一元的な組織管理体制を構築すべく組織変更を行った結果、当社グループの事業を一体として捉えることが、事業展開、経営資源の配分、経営管理体制の実態等の観点から合理的であると判断したことによるものであります。

この変更により、当第2四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。